



下記「文例（ア）・（イ）・（ウ）・（エ）」よりお選びください

*「文例（イ）」には、俗名に続き、行年（享年）をお入れ出来ます

文例（ア）

喪中につき年頭の
ご挨拶ご遠慮申し上げます

茲に本年中のご芳情を厚く御礼申し上げますと共に
明年も変わらぬご指導とご交誼をお願い申し上げます

文例（イ）

喪中につき新年の
ご挨拶ご遠慮申し上げます

本年四月に父正夫が永眠いたしました
本年中に賜りましたご厚情を深謝致しますと共に
明年も変わらぬご交誼のほどお願い申し上げます

文例（ウ）

本年五月に父が永眠いたしましたため
新年のご挨拶を申し上げるべきところ
喪中につきご遠慮させていただきます

なお時節柄一層の自愛の程お祈り申し上げます

文例（寒中）

寒中お見舞い申し上げます

昨年七月二十六日に母が七十九才にて永眠いたし
服喪中につき新年のご挨拶を失礼させて戴きました
寒さ厳しい折柄一層ご自愛のほどお祈り申し上げます

[ご記入欄]

ケ （ご芳名）	ク （お電話）	キ 静岡 市	カ （郵便番号）	オ 平成 年 月	イ （続柄）	ア （亡くなられた月）
TEL ()	番地	市	(〒)	年 月	が	月に
				エ （行年） オにて		
FAX0545-64-0561				ご注文枚数→		
e-mail fwhw0145@mb.infoweb.ne.jp				枚		